

■第二期子ども・子育て支援事業計画の骨子について

※現行計画の基本構成を受け継ぎつつ、記載内容の内容・ボリュームに応じて各項目の構成を改めます。

I 序論（計画の策定にあたって）

1 計画策定の背景と目的

※国における法制度の改正内容、高知市におけるこれまでの計画策定や施策の取組状況などを概観した上で、第二期計画を策定する目的を記載します。

○ 国における主な動き

- ・「子ども・子育て支援新制度」スタート（平成27年4月）
- ・「子育て安心プラン」（平成29年6月）
：保育の受け皿の拡大，保育人材の確保，保育の質の確保等
- ・「新しい経済政策パッケージ」（平成29年12月）
：幼児教育・保育の無償化，保育所待機児童の解消，高等教育の無償化
- ・「児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策」（平成30年7月）
- ・「新・放課後子ども総合プラン」（平成30年9月）
：放課後児童クラブ待機児童の早期解消，一体型・連携型の放課後児童クラブと放課後子供教室の実施等による全ての児童の安全・安心な居場所の確保

○ 高知県における主な動き

- ・「高知県子ども・子育て支援事業支援計画」（平成27年3月）
- ・「高知家の子どもの貧困対策推進計画」（平成28年3月）
：経済的に厳しい環境にある子どもたち，保護者等への支援策の抜本的強化

○ 高知市におけるこれまでの計画策定

- ・「高知市子育て支援計画～すこやか安心エンゼルプラン～」（平成10年度～16年度）
- ・「高知市子ども未来プラン～すくすくとさっこ21～」（平成17年度～21年度）
- ・「高知市子ども未来プラン2010～すくすくとさっこ21～」（平成22年度～26年度）
- ・「高知市子ども・子育て支援事業計画」（平成27年度～31年度）※最終年度

2 計画の位置付けと期間

(1) 計画の位置づけ

※根拠法令，高知市における上位計画，関連計画との関係について整理します。

〈法令等の根拠〉

市町村事業計画：子ども・子育て支援法第61条第1項

市町村整備計画：児童福祉法第56条の4の2第1項

※保育所，幼保連携型認定こども園の整備に関する計画

市町村行動計画：次世代育成支援対策推進法第8条第1項

市町村対策計画：子どもの貧困対策の推進に関する法律

〈上位計画〉

2011 高知市総合計画

基本構想：平成23年度～42年度（令和12年度）

第3次実施計画：2017～2020年度

後期基本計画：令和3年度～12年度（策定中）

〈関連する計画〉

高知市地域福祉活動推進計画：平成31/令和元年度～令和6年度

第二期高知市健康づくり計画：平成30年度～令和4年度

高知市教育振興基本計画：平成25年度～令和2年度

高知市障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画：平成30年度～令和2年度

(2) 計画の期間

- 令和2年度から令和6年度までの5年間。

※国における法制度の変更，量の見込み・確保方策の再設定など，必要と考えられる場合は中間年度に見直しを行います。

3 計画の策定方法

※ニーズ等調査の実施，子ども・子育て支援会議，庁内策定体制等について記載します。

4 計画の推進体制と進行管理

- 庁内体制、子ども・子育て支援会議等による取組の充実、高知県・近隣自治体との連携強化を図るとともに、市民、関係機関・団体、事業者等との連携のもとに計画を推進。
- 重点施策及び主な関連事業の実施状況，目標事業量等の達成状況について定期的に

点検・評価を行い、施策の充実・見直しについて検討。

Ⅱ 総論（基本的な考え方）

1 子どもと子育て家庭を取り巻く現状

（1）高知市における子育てを取り巻く状況

- 高知市の人口総数は 328,283 人（平成 31 年 4 月 1 日現在、住民基本台帳人口）。旧春野町と合併した平成 20 年以降減少傾向が続く。
- 少子高齢化が進み、平成 31 年 4 月 1 日現在、0 歳～17 歳の子どもの数は 49,775 人（人口総数比 15.2%、全国 14.9%（平成 30 年 10 月 1 日現在））と減少傾向にあり、親世代に相当する 18～39 歳も同様の状況にある。
- 婚姻件数、出生者数は減少傾向にあるが、人口千人あたりの出生率は全国より高く、合計特殊出生率は平成 29 年に 1.54 と全国と比べて高い数値で推移している。
- ひとり親家庭の世帯数は、平成 31 年 4 月 1 日現在、母子家庭が 6,376 世帯、父子家庭が 831 世帯で、ともに減少傾向が続く。
- 教育・保育事業の利用状況では、認可保育所や認定こども園等を利用する 2 号・3 号認定の児童の割合が全国平均より大幅に高く、保育所待機児童数は平成 30 年 4 月 1 日時点で 43 人となっている。
- 児童虐待相談の対応件数は全国と同じように毎年増加する傾向にあるが、高知市要保護児童対策地域協議会の管理ケース数は近年減少傾向にある。

（2）子ども・子育て支援に関する市民の意識

※ニーズ等調査の主な結果を紹介します。

- 子育てを父母ともに行う家庭が 5 年前に実施した調査より増加。
- 就労している母親の割合は 81.1%と、前回調査の 70.2%より増加。
- 母親の育児休業の取得割合は 55.1%と、前回調査の 42.1%より増加。
- 何らかの教育・保育事業を利用している家庭は 87.6%。
- 一時的な預かりの利用希望が 51.5%と、前回調査の 48.7%より増加。
- 小学校就学後の放課後の過ごし方として放課後児童クラブの利用希望が 65.5%。
- 地域子育て支援センターについて 0 歳児の 27.7%、1 歳児の 18.4%が利用。
- 地域における子育ての環境や支援について 10 項目にわたり尋ねたところ、いずれの項目も前回調査より概ね改善ないし横ばい状況にある。
- 40 歳以上の保護者で、子育てと親の介護を同時に行うダブルケアの状態に直面した経験のある人は 12.9%、近い将来可能性があると感じた人が 74.2%。

2 計画の基本的な考え方

(1) 基本理念

- ①「高知市子ども未来プラン～すくすくとさっこ21～」 (平成17年度～21年度)
みんなで支え育ちあう すくすく子育て いきいき子育て支援のまちづくり
- ②「高知市子ども未来プラン2010～すくすくとさっこ21～」 (平成22年度～26年度)
みんなで支え育ちあう すくすく子育て いきいき子育て支援のまちづくり
- ③「高知市子ども・子育て支援事業計画」 (平成27年度～31年度)
希望あふれる未来に向けて みんなで支え育ちあう 子ども・子育て支援のまちづくり

(2) 基本方針

- ①「高知市子ども未来プラン～すくすくとさっこ21～」 (平成17年度～21年度)
子どもがすくすくと育つまち
いきいきと子育てのできるまち
子育て支援の輪がひろがるまち
- ②「高知市子ども未来プラン2010～すくすくとさっこ21～」 (平成22年度～26年度)
子どもがすくすくと育つまち
いきいきと子育てのできるまち
子育て支援の輪がひろがるまち
- ③「高知市子ども・子育て支援事業計画」 (平成27年度～31年度)
全ての子どもがすくすくと健やかに育つまち
子どもの誕生と成長に喜びを感じるまち
みんなで子どもと子育てを支えるまち